

# 幸せな未来は幸せな子ども達から 子どもの幸福度世界一、共生社会のオランダに学ぶ

第7回教室『学びあい』フォーラム2011in東京

2011年8月6日

リヒテルズ直子

(オランダ教育・社会研究家、著述家、

日本イエナプラン教育協会代表)

イントロダクション

# オランダの学校制度と 共生教育の取り組み

リヒテルズ直子「幸せな未来は幸せな子ども達から～子どもの幸福度世界一、共生社会のオランダに学ぶ」(教室「学び合い」フォーラム2011講演パワーポイント)

29.8%

日本

2.9%

オランダ

「孤独とを感じる」と答えた子どもの比率  
(2007年発表のユニセフの調査)

● <b>日本</b>	<b>29.8%</b>	<b>(1位)</b>
● アイスランド	10.3%	(2位)
● カナダ	7.6%	(4位)
● フランス	6.4%	(14位)
● ドイツ	6.2%	(16位)
● フィンランド	6.2%	(16位)
● イタリア	6.0%	(19位)
● イギリス	5.4%	(20位)
● <b>オランダ</b>	<b>2.9%</b>	<b>(24位)</b>

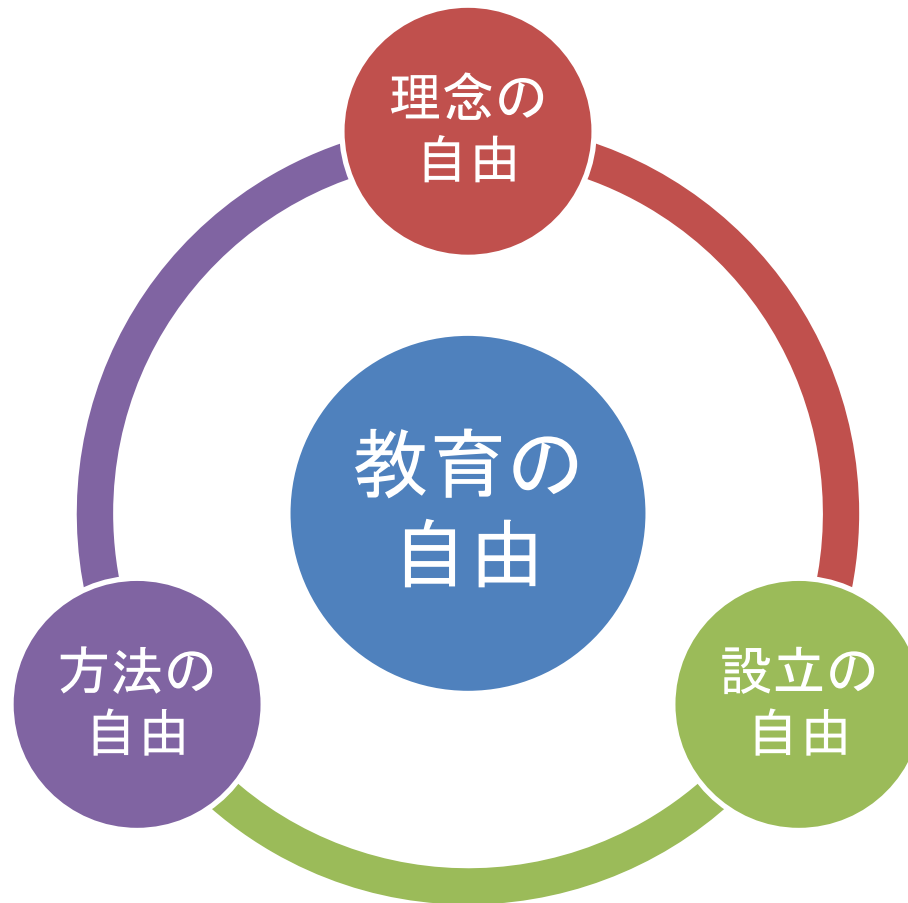
## 「孤独とを感じる」という子どもの比率



- 1. 物質的な豊かさ 10位
  - 2. 健康と安全 2位
  - 3. 教育的な豊かさ 6位
  - 4. 家族や友人との関係の豊かさ 3位
  - 5. 青少年の行動とリスク 3位
  - 6. 主観的評価による幸福 1位
- 
- 総合で**第1位**

## オランダの子どもたちの幸福度 (先進21カ国中)

# オランダ学校教育の土壌



リヒテルズ直子「幸せな未来は幸せな子ども達から～子どもの幸福度世界一、共生社会のオランダに学ぶ」(教室「学び合い」フォーラム2011講演パワーポイント)



# 自分にふさわしい教育を選べるということ

リヒテルズ直子「幸せな未来は幸せな子ども達から～子どもの幸福度世界一、共生社会のオランダに学ぶ」(教室「学び合い」フォーラム2011講演パワーポイント)

- 公立校(約3割)
- 私立校(約7割)
  - カトリック校
  - プロテスタント校
  - 無宗派一般校(市民の協会)
  - ヒンズー校
  - イスラム校

公立校(約3割)と私立校(約7割)

# 戦後オランダの教育改革の流れ

60年代後半～70年代  
画一から個別へ  
(各種のオールタナティブ教育の普及・方法の分化)

90年代～  
特殊教育から特別支援教育へ  
(インクルージョン)

2000年代後半～現在  
知識詰め込みから市民性育成へ  
(シチズンシップ教育)

# 60年代後半～70年代 画一から個別へ

オールタナティブ教育の手法に国が注目、  
市民が学校設立

国立カリキュラム研究所と教育サポート機  
関による、教育方法の多様化

教員研修（個別教育のコンセプトと方法の  
共有）

- イエナプラン教育
  - モンテッソーリ教育
  - ダルトン教育
  - フレネ教育
  - シュタイナー教育 (フリースクール)
- 
- 12人に 1人がこのいずれかに通う

## オールタナティブ教育





# イエナプラン教育

リヒテルズ直子「幸せな未来は幸せな子ども達から～子どもの幸福度世界一、共生社会のオランダに学ぶ」(教室「学び合い」フォーラム2011講演パワーポイント)



リヒテルズ直子「幸せな未来は幸せな子ども達から～子どもの幸福度世界一、共生社会のオランダに学ぶ」(教室「学び合い」フォーラム2011講演パワーポイント)



## イエナプラン教育



リヒテルズ直子「幸せな未来は幸せな子ども達から～子どもの幸福度世界一、共生社会のオランダに学ぶ」(教室「学び合い」フォーラム2011講演パワーポイント)



# イエナプラン教育

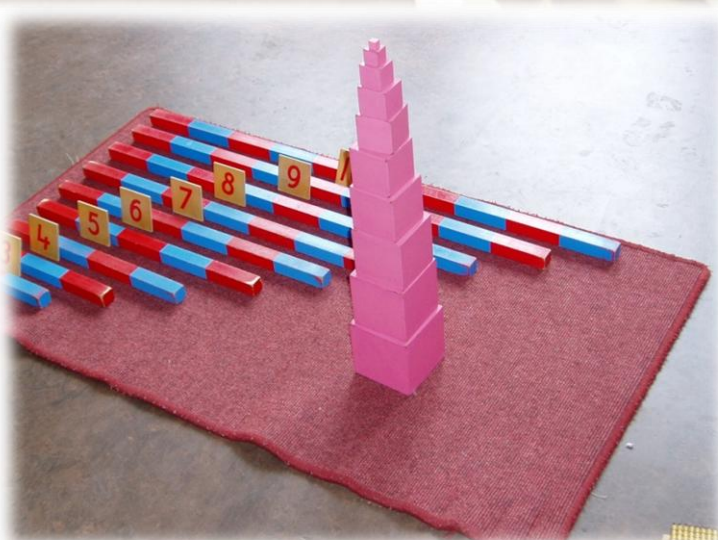
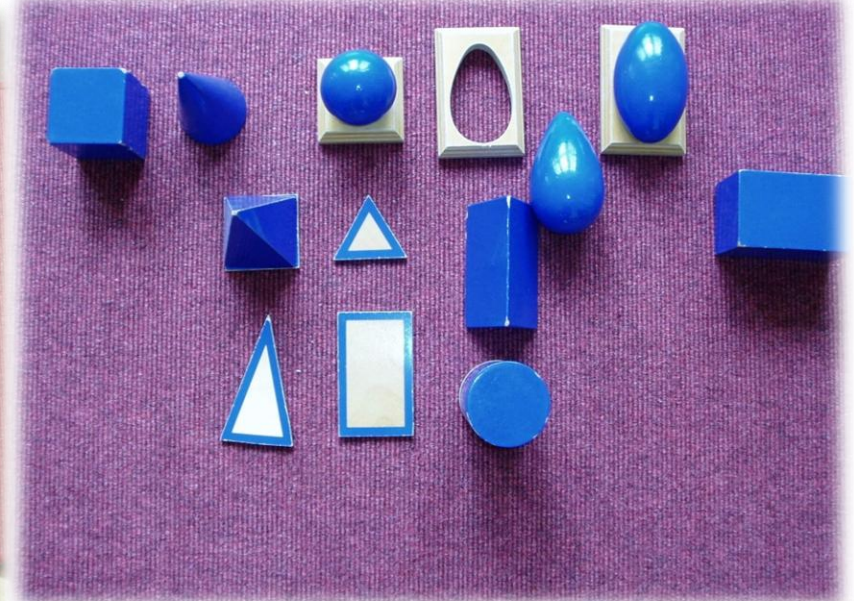
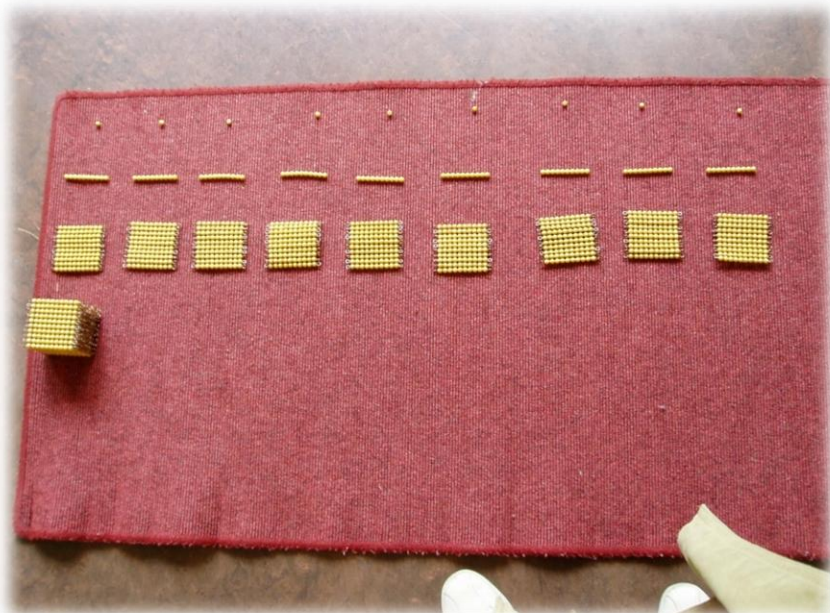
# モンテッソーリ 教育



リヒテルズ直子「幸せな未来は幸せな子ども達から～子どもの幸福度世界一、共生社会のオランダに学ぶ」(教室「学び合い」フォーラム2011講演パワーポイント)



リヒテルズ直子「幸せな未来は幸せな子ども達から～子どもの幸福度世界一、共生社会のオランダに学ぶ」(教室「学び合い」フォーラム2011講演パワーポイント)



# モンテッソーリ教育



リヒテルズ直子「幸せな未来は幸せな子ども達から～子どもの幸福度世界一、共生社会のオランダに学ぶ」(教室「学び合い」フォーラム2011講演パワーポイント)



モンテッソーリ教育

リヒテルズ直子「幸せな未来は幸せな子ども達から～子どもの幸福度世界一、共生社会のオランダに学ぶ」(教室「学び合い」フォーラム2011講演パワーポイント)



## ダルトン教育



Takenblad groep 8a

Naam: .....

Donderdag 23 t/m woensdag 29 september

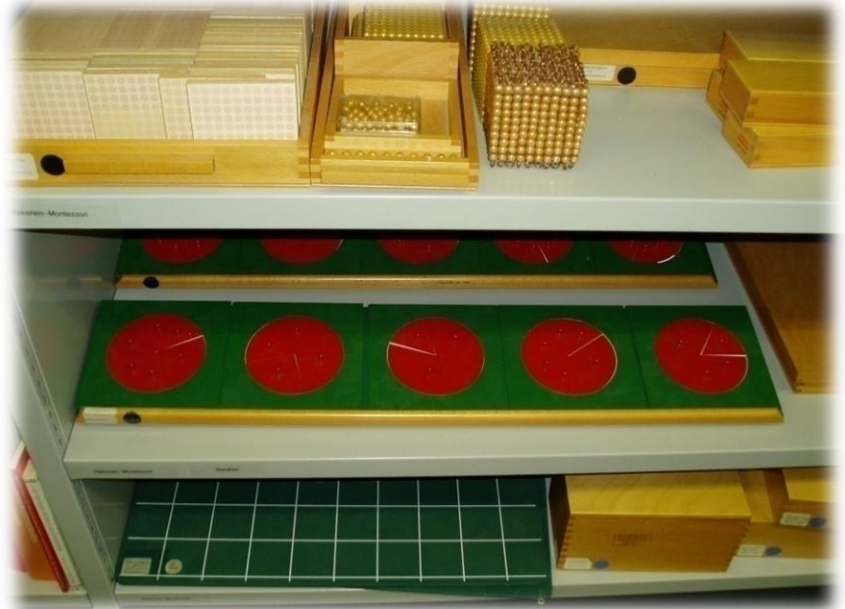
planning	af		opmerkingen:	instructie	
		<b>SPELLING</b>			
		Aanbieding wwp 3	nakijken van bord	mee beginnen	do
		Wwp 3	woordspel+zinnen maken		
		Werkblad	tegenwoordige tijd		! do
		Wp 3	Signaaldictee		! vr
		Stencil oefenkaart	35.6 / 40.9 / 40.10	nieuw schrift	! ma
		Wp 3	controledictee		! wo
		Oefen elke dag even woordjes van wp!			
		<b>TAAL</b>			
		Les 3	oef 6		! ma
		Les 3	oef 7		! ma
		Stencil	lijdend voorwerp		! di
		Les 3	oef 9		! di
		EXTRA	les 3 oef 4,5		
		EXTRA	2 taalkaarten		
		<b>REKENEN</b>			
		Taak 18	8a som 1,3,4,5,6	van som 6 onderste 3	! do
		Taak 18	7b som 2,3,6		! do
		Taak 19	8a som 1,2,4,*7		! ma
		Taak 19	7b som 1,2,4,*6		! ma
		Taak 19	8a som 3,5,6,7		! di
		Taak 19	7b som 3,5		! di
		Taak 20	project		S wo
		EXTRA	van alles wat		
		<b>AARDRIJKSKUNDE</b>			
		Topo	Noord-Afrika		
		Hoofdstuk 3	les 1		S do
		Hoofdstuk 3	vraag 1-20	alleen blauwe+werkboek	! do
		Hoofdstuk 3	les 2		S wo
		Hoofdstuk 3	vraag 21-37	alleen blauwe+werkboek	! wo
		<b>GESCHIEDENIS</b>			
		Hoofdstuk 2	les 3		S di
		Hoofdstuk 2	werkboek 11-12	na dinsdag maken	
		<b>LEZEN</b>			
		Blok 2	les 2		S ma
		Blok 2	bakles		
		Eigen leesboek	15 minuten		

ダルトン教育



# ダルトン教育





教育サポート機関に集められた多様な教材群

# 90年代 特殊教育から特別支援教育へ

「もう一度一緒に学校へ(WSNS)政策」  
(LD,ADHDなどの学習困難児対象)

「リュックサック政策」  
(軽度障がい児対象)

2012年には、すべての障がい児のイ  
ンクルージョンが目指されている





リヒテルズ直子「幸せな未来は幸せな子ども達から～子どもの幸福度世界一、共生社会のオランダに学ぶ」(教室「学び合い」フォーラム2011講演パワーポイント)





リヒテルズ直子「幸せな未来は幸せな子ども達から～子どもの幸福度世界一、共生社会のオランダに学ぶ」(教室「学び合い」フォーラム2011講演パワーポイント)





リヒテルズ直子「幸せな未来は幸せな子ども達から～子どもの幸福度世界一、共生社会のオランダに学ぶ」(教室「学び合い」フォーラム2011講演パワーポイント)



リヒテルズ直子「幸せな未来は幸せな子ども達から～子どもの幸福度世界一、共生社会のオランダに学ぶ」(教室「学び合い」フォーラム2011講演パワーポイント)





リヒテルズ直子「幸せな未来は幸せな子ども達から～子どもの幸福度世界一、共生社会のオランダに学ぶ」(教室「学び合い」フォーラム2011講演パワーポイント)

# 個別化(分化) > インクルージョン

体制づくり:  
特別支援(IB)教員と緊急補助(AB)教員

個別発達のモニター

方法  
自立と協働を基本にしたオールタナティブ教育の影響  
マルチプルインテリジェンスの考え方の広範囲での普及・応用



# 2000年代～現在 知識詰め込みから市民性の育成へ

産業化社会の歯車として、  
知識を詰め込まれた受け  
身の人間を育てるのでは  
なく、

脱産業化社会の、民主的  
な市民社会で、自立的に  
ものを考え判断し、意欲  
的に社会参加する人間を



## シチズンシップ教育



リヒテルズ直子「幸せな未来は幸せな子ども達から～子どもの幸福度世界一、共生社会のオランダに学ぶ」(教室「学び合い」フォーラム2011講演パワーポイント)



多文化共生の学校を目指して





# ピースフルスクール

リヒテルズ直子「幸せな未来は幸せな子ども達から～子どもの幸福度世界一、共生社会のオランダに学ぶ」(教室「学び合い」フォーラム2011講演パワーポイント)



# ピースフルスクール

リヒテルズ直子「幸せな未来は幸せな子ども達から～子どもの幸福度世界一、共生社会のオランダに学ぶ」(教室「学び合い」フォーラム2011講演パワーポイント)

# ピースフルスクールの3要素

授業プログラム(メソッド)

学校の教員チームのトレーニングとコーチング

上級生メディアエータートレーニング

# 授業プログラム1

- 4～12歳までの各学年ごとの週1回の授業シナリオの書かれた指導書
- 各授業は①導入のための遊び、②この日の授業の経過と目的を共有する、③1～3個程度の参加型アクティビティ、④振り返りの評価、⑤しめくり(遊び)
- 授業は6ブロック(各ブロックに6回ずつの授業)





リヒテルズ直子「幸せな未来は幸せな子ども達から～子どもの幸福度世界一、共生社会のオランダに学ぶ」(教室「学び合い」フォーラム2011講演パワーポイント)





リヒテルズ直子「幸せな未来は幸せな子ども達から～子どもの幸福度世界一、共生社会のオランダに学ぶ」(教室「学び合い」フォーラム2011講演パワーポイント)

# 授業プログラム2 ブロックのテーマ

1. 私たちのクラス

2. コンフリクトを自分で解消する

3. コミュニケーション

4. 感情

5. メディエーション(コンフリクトの調停)

6. みんな一人一人違う、でも一緒に

# 学校教員チームのトレーニング

- 1年目：メソッドを使って授業をしながら、年に5回（半日ずつ）のワークショップを受ける  
コンセプトの理解、教員と子どもとの関係についての見直し、子どもへの対し方・言葉づかい、保護者との関係（保護社会でのモデル授業づくり、企画、実施）
- 2年目：授業中に、外部トレーナーがコーチング





リヒテルズ直子「幸せな未来は幸せな子ども達から～子どもの幸福度世界一、共生社会のオランダに学ぶ」(教室「学び合い」フォーラム2011講演パワーポイント)





リヒテルズ直子「幸せな未来は幸せな子ども達から～子どもの幸福度世界一、共生社会のオランダに学ぶ」(教室「学び合い」フォーラム2011講演パワーポイント)

# 上級生メディエーター

- 各学校の上級生(4～6年生)の中から「志願者」に対してメディエーター・トレーニングを行う(外部トレーナーによる数回の授業)
- メディエーター:2人ずつ交代で、行内のコンフリクト解消のメディエーターの役割





リヒテルズ直子「幸せな未来は幸せな子ども達から～子どもの幸福度世界一、共生社会のオランダに学ぶ」(教室「学び合い」フォーラム2011講演パワーポイント)



リヒテルズ直子「幸せな未来は幸せな子ども達から～子どもの幸福度世界一、共生社会のオランダに学ぶ」(教室「学び合い」フォーラム2011講演パワーポイント)



リヒテルズ直子「幸せな未来は幸せな子ども達から～子どもの幸福度世界一、共生社会のオランダに学ぶ」(教室「学び合い」フォーラム2011講演パワーポイント)

## Binnenkomer:

Zoek iemand die ...





リヒテルズ直子「幸せな未来は幸せな子ども達から～子どもの幸福度世界一、共生社会のオランダに学ぶ」(教室「学び合い」フォーラム2011講演パワーポイント)





リヒテルズ直子「幸せな未来は幸せな子ども達から～子どもの幸福度世界一、共生社会のオランダに学ぶ」(教室「学び合い」フォーラム2011講演パワーポイント)



**シチズンシップ教育は世界市民の育成**

# その他の動き

MI(マルチプルインテリジェンス)の展開

ピーター・センゲの「学習する組織の5つの原則」に基づいた学校変革の影響

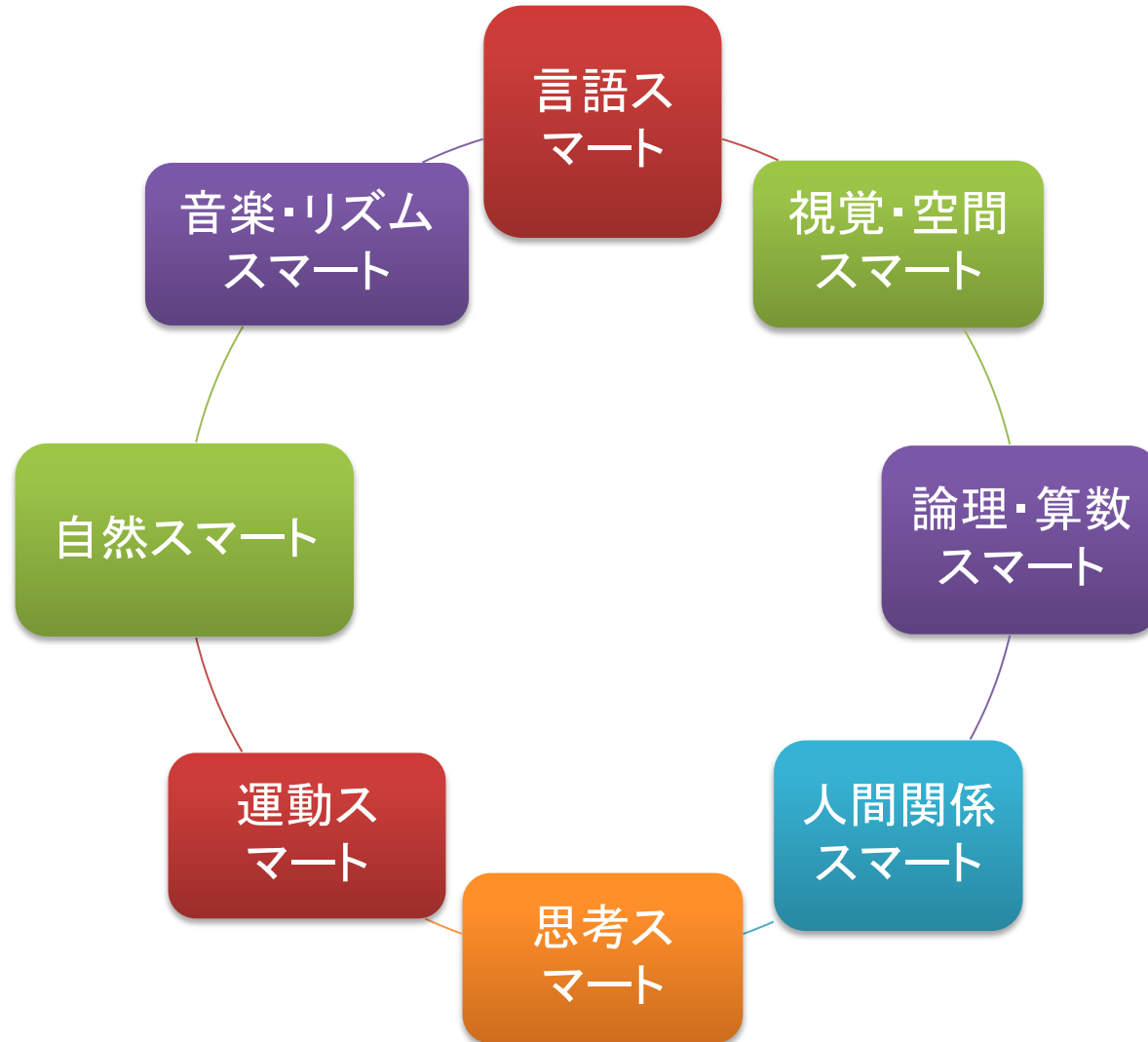
システム思考を小学生から (Jan Jutten, Natuurlijk leren)

子どもの発達に関する脳科学の研究成果を取り入れたメソッド・授業企画

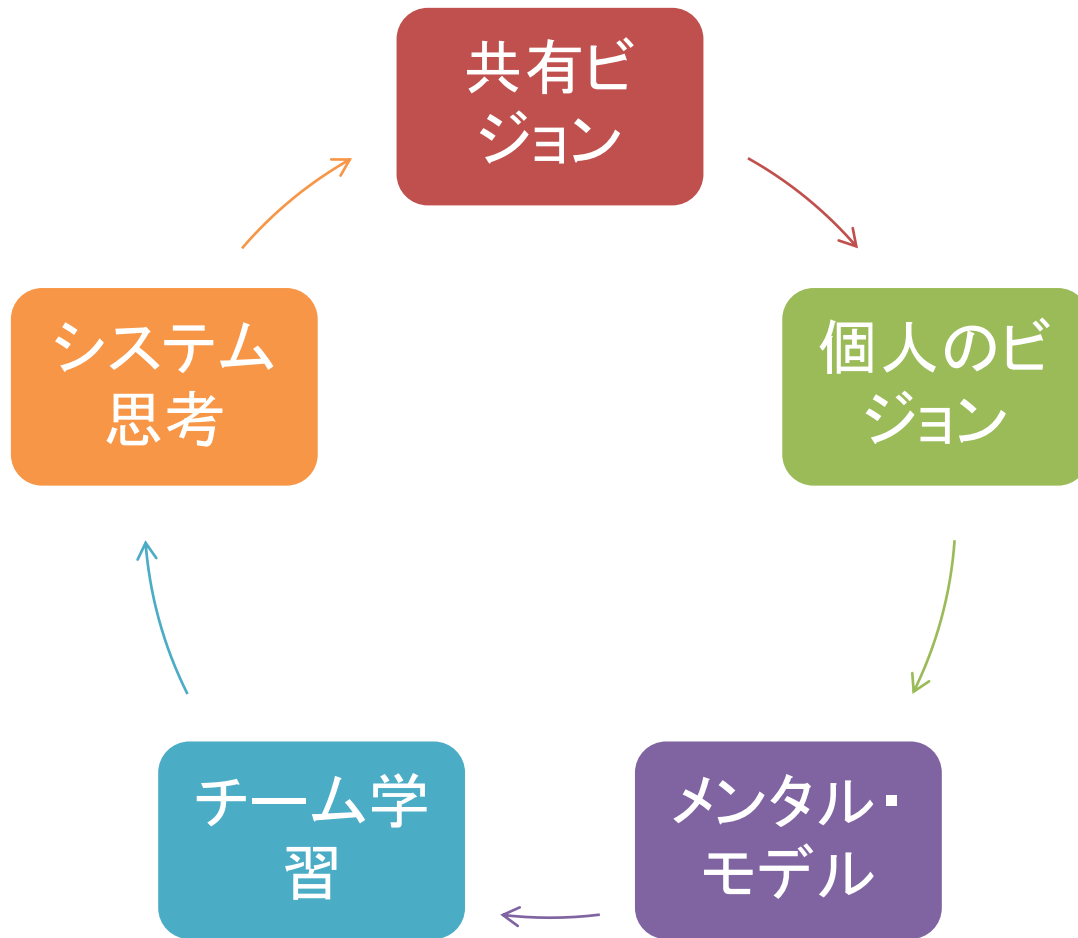


# ヒューマン・リソースとしての マルチプル・インテリジェンス

## Howard Gardner



# ピーター・センゲ「学習する組織」の 5つの原則



リヒテルズ直子「幸せな未来は幸せな子ども達から～子どもの幸福度世界一、共生社会のオランダに学ぶ」(教室「学び合い」フォーラム2011講演パワーポイント)

# 産業化社会から脱産業化社会へ ～P.sengeの問題意識～

## グローバルゼーション: 相互作用の多い世界

- 9.11世界テロ、SARSの蔓延など、世界の片隅の小さな出来事が世界中に影響を及ぼす。

## 相互作用の増加 > 原理主義の助長という皮肉

- 人や物が国境を超えて交流する中で、テリトリー意識(排斥主義)が各地に生まれてきている

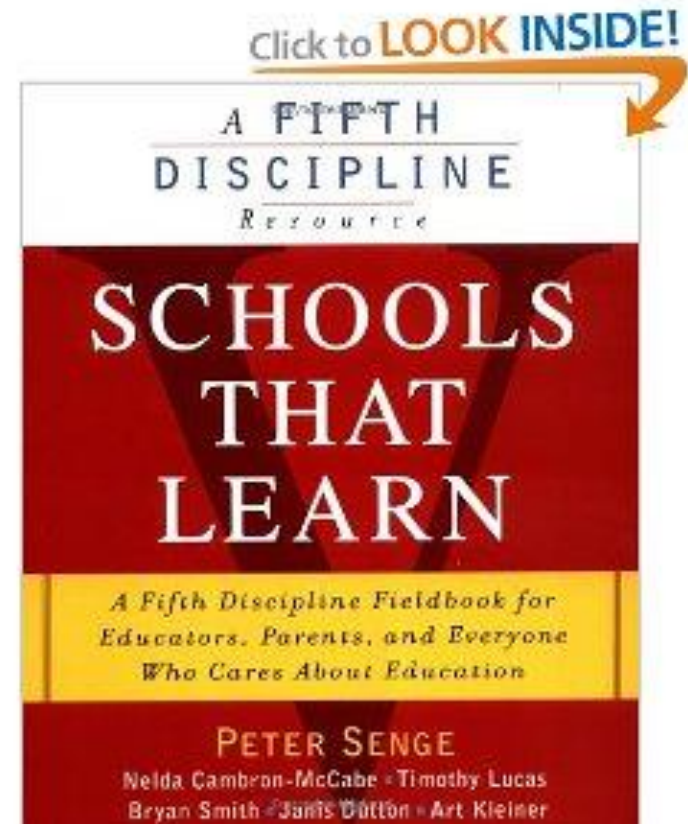
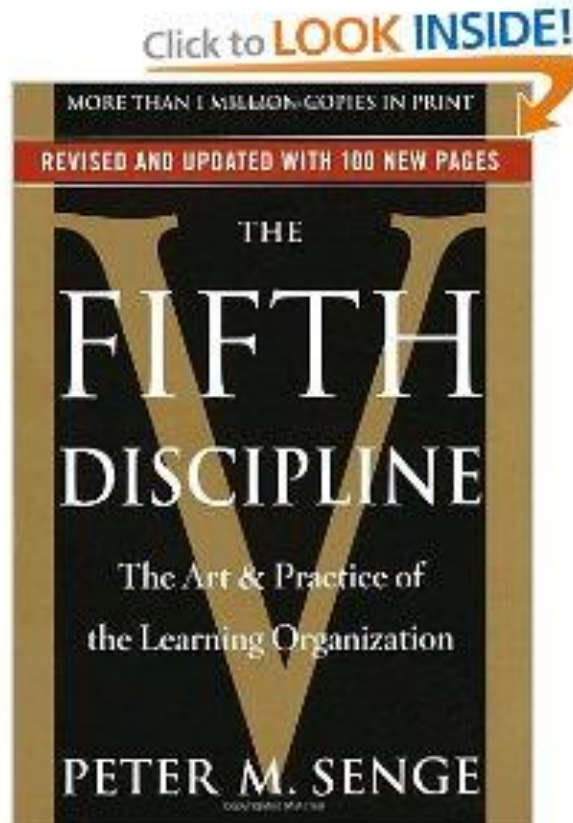
## 分析的・線型的な思考ではなく、システム思考の必要



# 学習する組織 > 学習する学校

学習する組織  
日本訳書名「最強組織の法則」

学習する学校



リヒテルズ直子「幸せな未来は幸せな子ども達から～子どもの幸福度世界一、共生社会のオランダに学ぶ」(教室「学び合い」フォーラム2011講演パワーポイント)

# 学習する学校

## 教育(哲学)上の立場

### ジョン・デューイ

- アメリカの(教育)哲学者
- 学校と社会
- 経験と教育
- 民主主義と教育

### ジャン・ピアジェ

- スイスの心理学者
- 発達心理学
- 認知心理学

### パウロ・フレイレ

- ブラジルの教育哲学者・改革運動家
- 銀行型教育
- 生成教育学
- 批判教育学

# Natuurlijke Lerenのグループが 開発しているツール

ワードスピン(言葉の蜘蛛の巣)

マインドマップ

因果関係図式

行動パターングラフ

関係サークル



# 分析思考からシステム思考へ

## 分析的思考

個別、部分的要素の分析

詳細の正確さ

一つの変数へ注目

おもに線形思考 ( $A > B, B > C$ )

特定科目の中での学び

因果関係が近接

相互作用の内容を研究

出来事と事実に注目

一つ一つの問題をユニーク、個別に取り扱う

成功・改善・業績指向

## システム思考

要素同士のつながり、要素間の相互作用を分析

グローバルな視野、全体像

変数間のダイナミックな関わり、相互作用に注目

おもに循環思考 ( $A > B, B > A$ )

複数科目間のつながりの中での学び

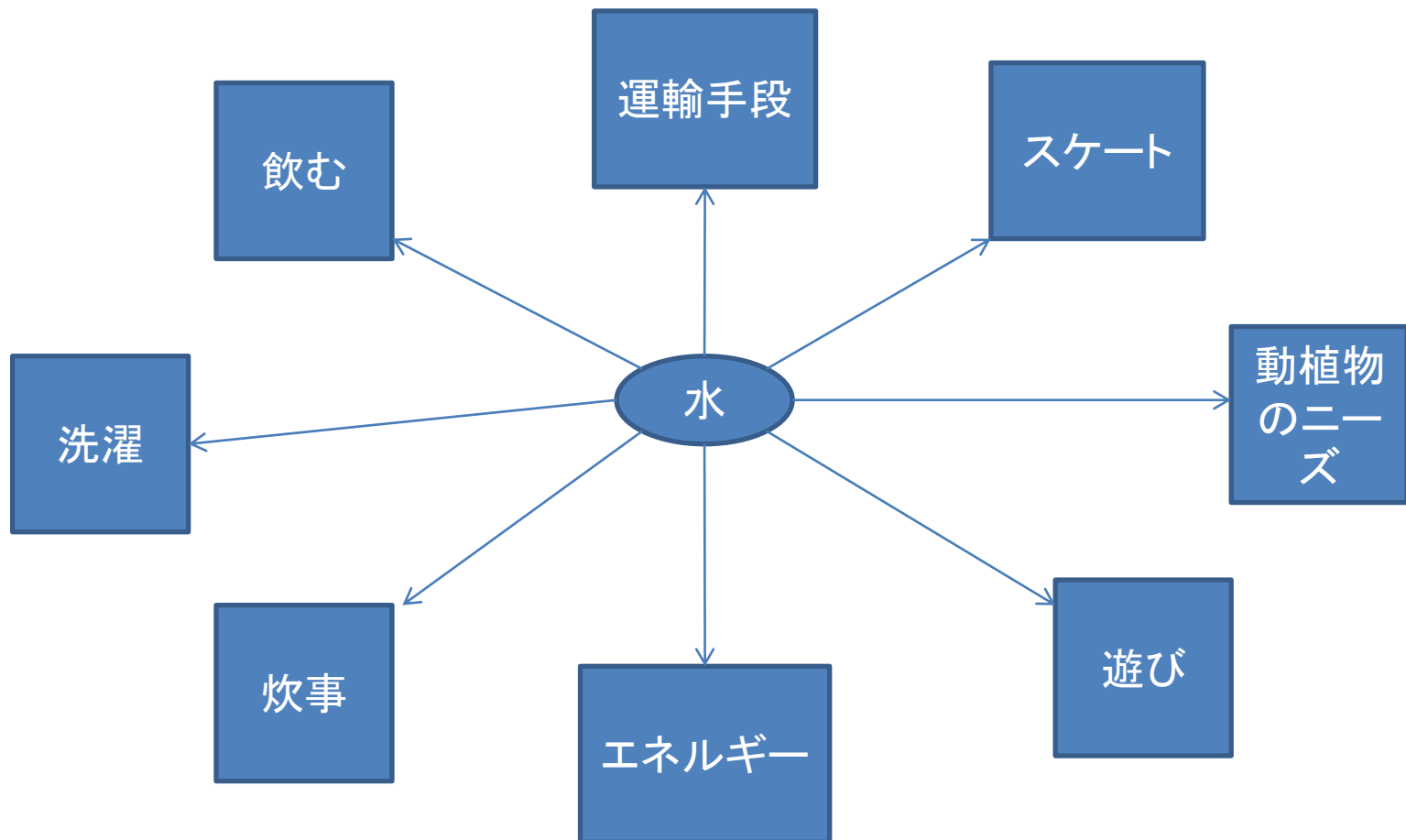
相互作用の効果を研究

背後にある構造や関係性に注目

問題に繰り返し現れるパターンに注目

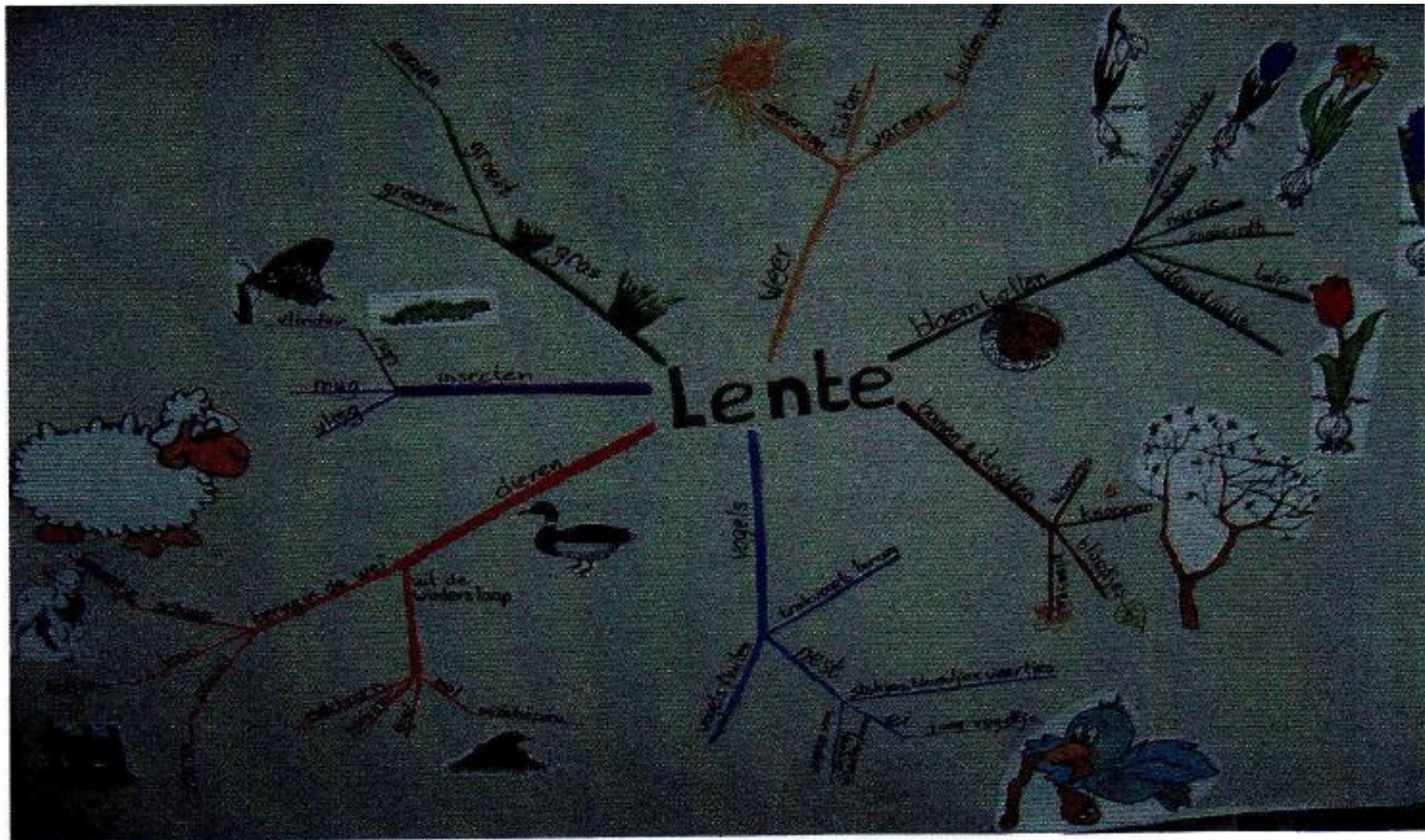
成功を生むプロセス、そこに生じる障害などを指向

# ワードスピン



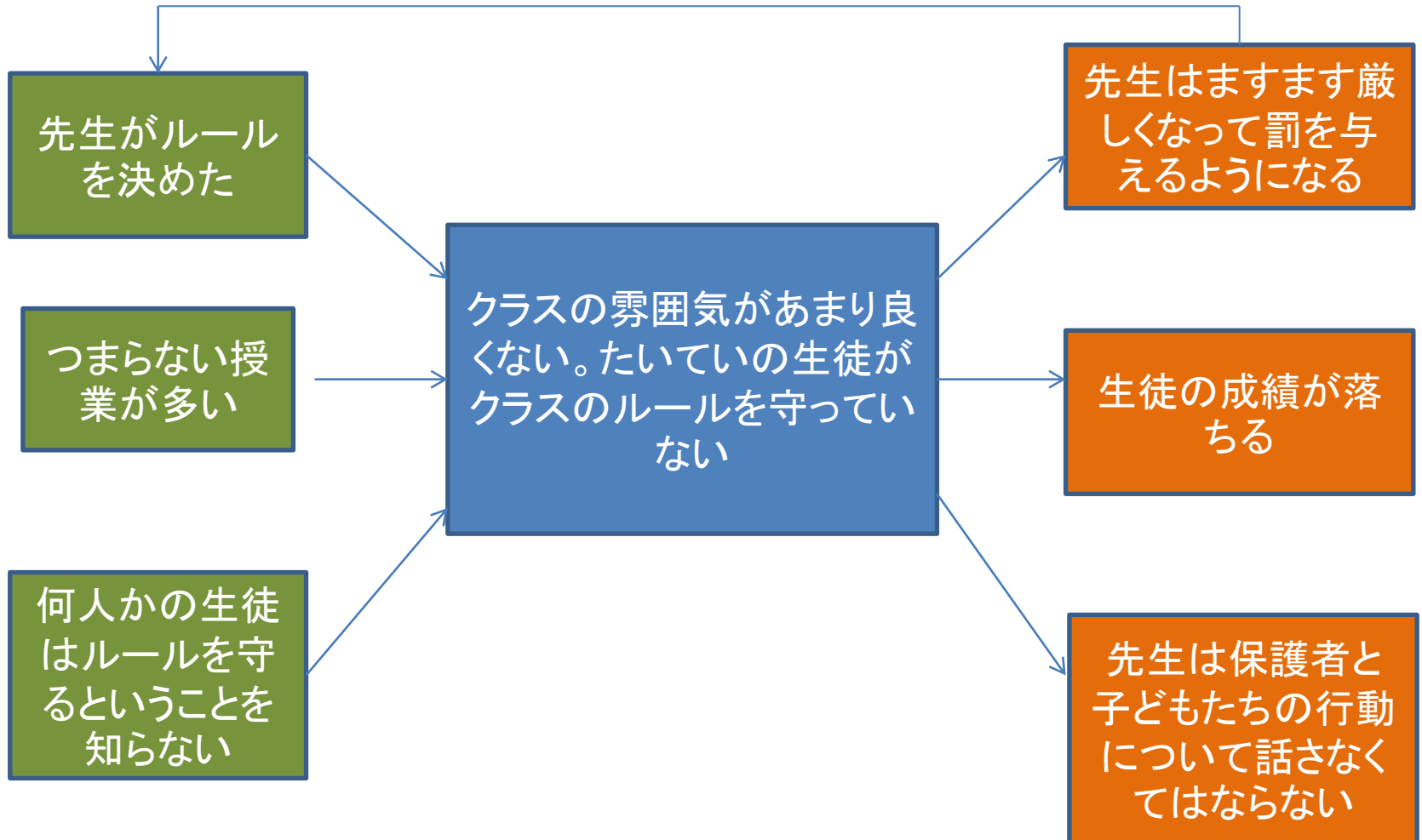
リヒテルズ直子「幸せな未来は幸せな子ども達から～子どもの幸福度世界一、共生社会のオランダに学ぶ」(教室「学び合い」フォーラム2011講演パワーポイント)

# 幼稚園のマインドマップ例

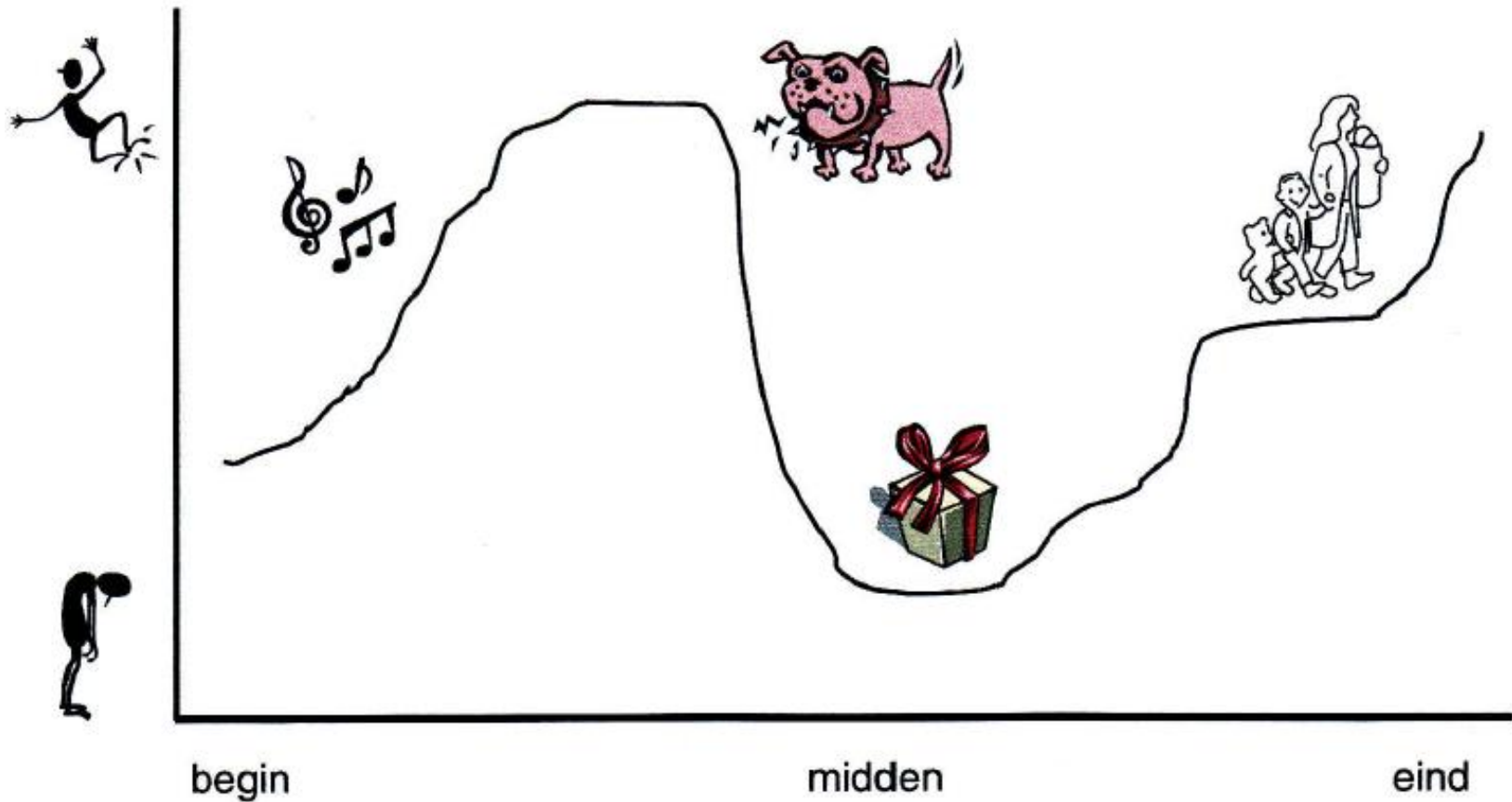




# 因果関係図式の例

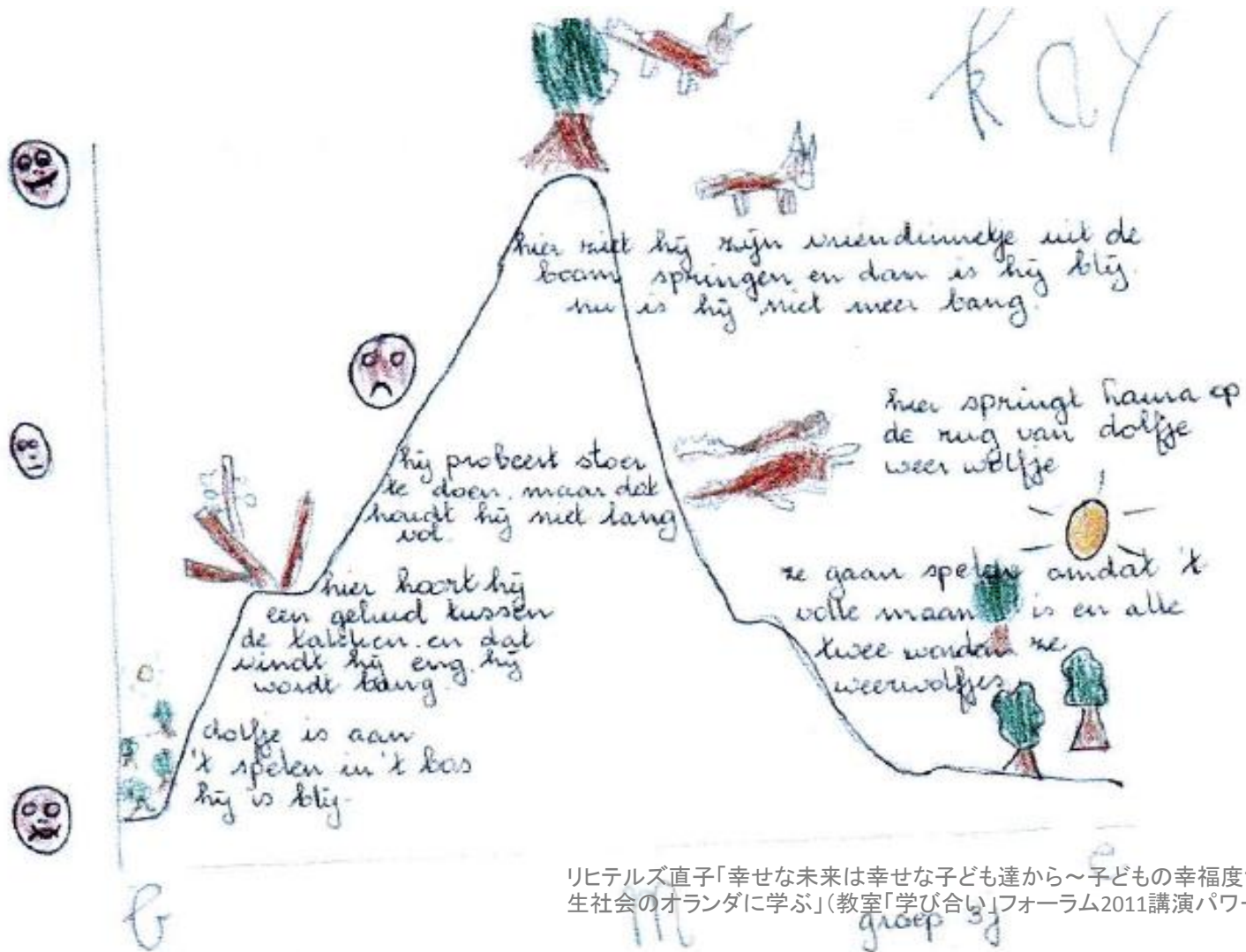


# 行動パターンングラフ



リヒテルズ直子「幸せな未来は幸せな子ども達から～子どもの幸福度世界一、共生社会のオランダに学ぶ」(教室「学び合い」フォーラム2011講演パワーポイント)

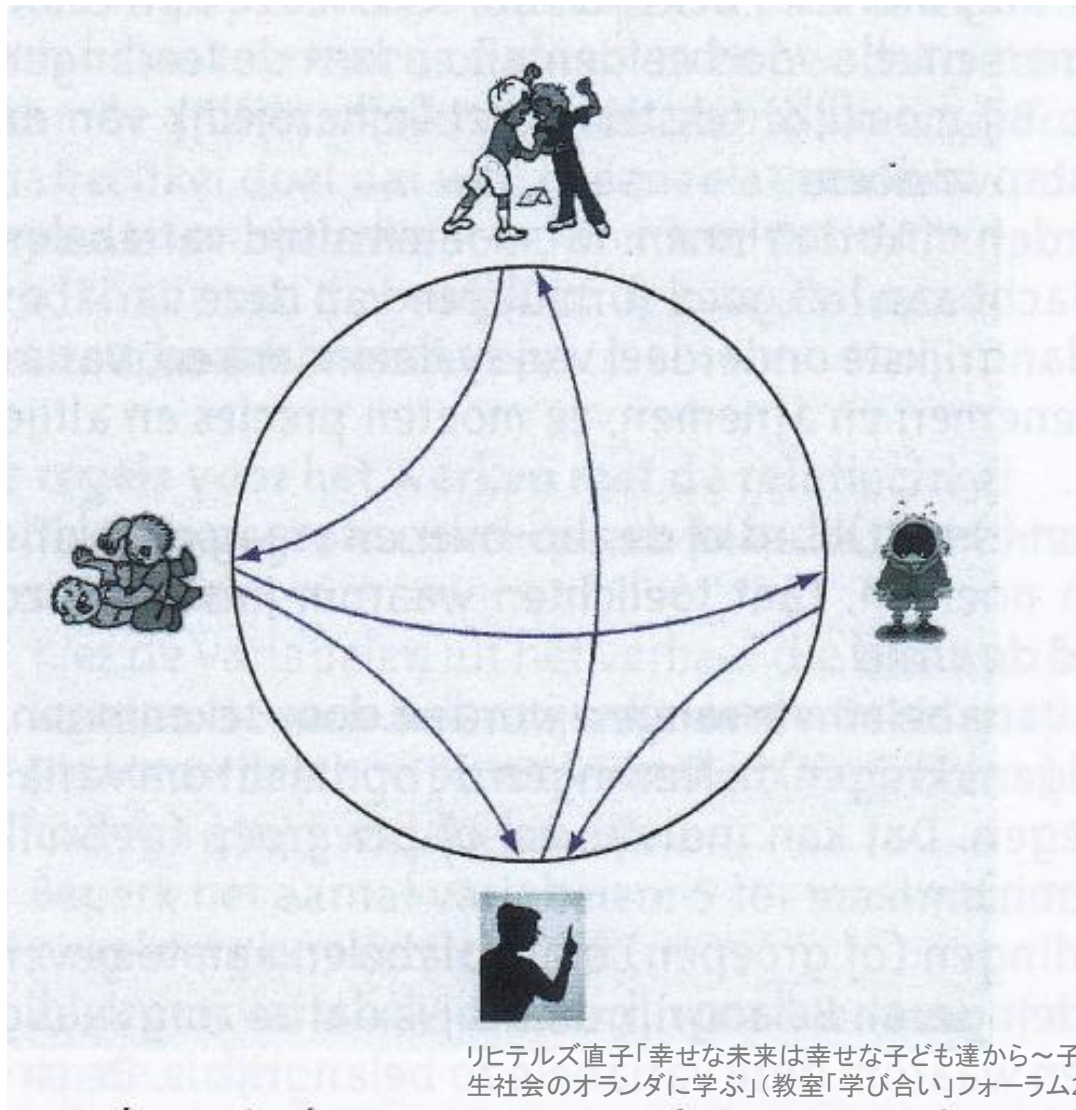
# 行動パターングラフの例



リヒテルズ直子「幸せな未来は幸せな子ども達から～子どもの幸福度世界一、共生社会のオランダに学ぶ」(教室「学び合い」フォーラム2011講演パワーポイント)



# 因果関係サークルの例



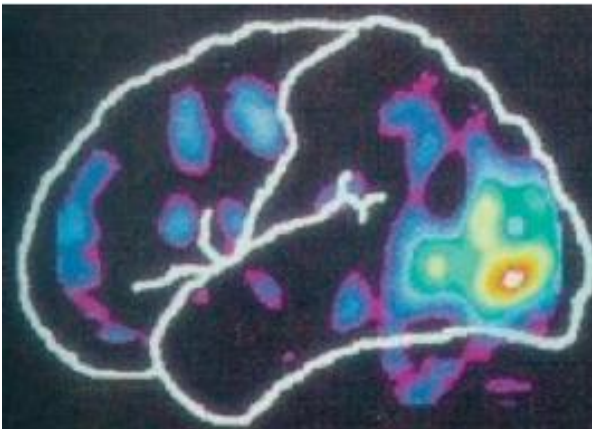
リヒテルズ直子「幸せな未来は幸せな子ども達から～子どもの幸福度世界一、共生社会のオランダに学ぶ」(教室「学び合い」フォーラム2011講演パワーポイント)

# メタ認知

- 全体像
- 振り返り(リフレクション)
- 自己評価と相互評価

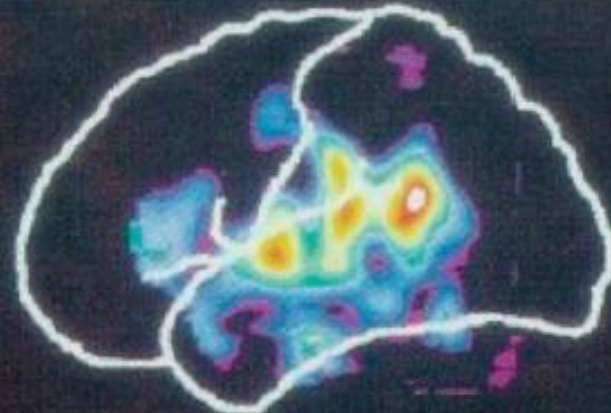
# 脳科学との共同

受け身で言葉を眺めているとき



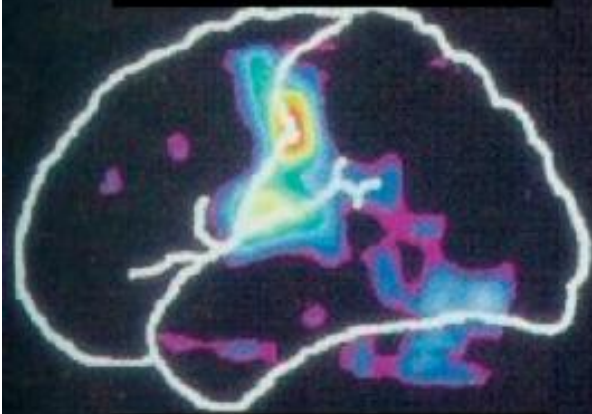
Passively viewing words

人の言葉を聞いているとき



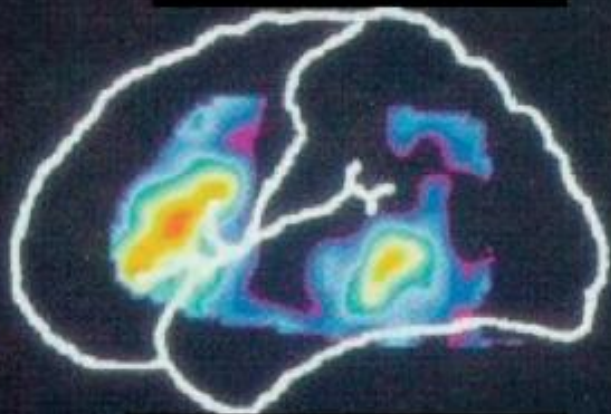
Listening to words

自分で言葉を使って話しているとき



Speaking words

動詞を生み出しているとき



Generating Verbs



# 脳科学との共同



リヒテルズ直子「幸せな未来は幸せな子ども達から～子どもの幸福度世界一、共生社会のオランダに学ぶ」(教室「学び合い」フォーラム2011講演パワーポイント)

オランダの教育を参考にしながら

# これからの日本の教育を考える

リヒテルズ直子「幸せな未来は幸せな子ども達から～子どもの幸福度世界一、共生社会のオランダに学ぶ」(教室「学び合い」フォーラム2011講演パワーポイント)

# 何のため、誰のための教育？

『学びあい』はなぜ子どもたちに大切なのか？

20年後の市民に必要な力とは何？

20年後の世界はどんな世界？

私たちは、子どもたちに「どんな社会」を残してやりたいのか？



# 大切なのは、

どう教えるか、で  
はなく、  
何を教えるのか

過去ではなく未来

大人の都合ではなく、子  
どもにとって生きやすい  
社会

学校は、ほかにはあまり代  
えられるものがない(かけが  
えのない)、共同体の練習  
の場

# 日本社会が直面している問題点

## 世界に共通の問題

グローバル化による貧富の格差の拡大

リーダー(勝者エリート)と一般市民(敗者大衆)の分極化:リーダーシップに対する市民の不信

国の政治の中に市民がコントロールできない諸外国の要因が急増

政治イデオロギーの不明瞭化によるポピュリズムの増大

地球規模での環境危機

## 後発近代化社会に特有(?)の問題

近代化=産業化という誤解が続いている

近代教育=国家政策として殖産興業の手段とみなされてきた(学校そのものが人生の勝敗を決める手段)

教育政策そのものが「勝者」の論理になりがち

# アプローチの違い (歴史・地理的条件の違い)

## 日本

タテ関係による序列型社会システム

自由競争原理

問題排斥型

価値一元的

国際的な孤立

対米依存

近代思想の未熟

## オランダ

ヨコに平等な市民社会システム

平等共生原理

問題内包型

価値多元的

欧州連合の一員

対米自立

近代思想の議論が熟成



# 価値多元主義の強さ

自由競争だけではなく、横に平等な社会を支える  
原理

排斥的でなく、内包的＞人々の社会参加を促す

知恵を結集したり、異なる能力や専門の協働を  
促せる

市民の自立と社会的責任を活性化できる

ひいては、、、「幸福感」が高い社会

# 和魂洋才を見直す

